

ナシ黒星病の防除対策を行いましょ！

今年は春先から黒星病の発生が多くみられ、今後も多発する恐れがあります。圃場をよく観察し、発生を見たらただちに防除しましょう。

1 防除対策

●薬剤防除

- 今年は5月末に黒星病の感染に好適な気象条件の日があった。黒星病は感染後、発病までに約15日間程度の潜伏期間があるため、6月中旬の発病状況を確認し、発生を見たら追加防除を徹底する。
- 通風・採光を良くし、散布した薬剤が樹全体にかかるようにする。特に、圃場の周辺部など薬液のかかりにくい場所は丁寧に散布する。
- FRACコードが同一の薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。
- 無袋栽培では薬剤の種類によっては果実に汚れが生じることがあるので注意する。

●耕種的防除

- 病斑を見つけた場合は、直ちに除去し、埋設等適切に処分を行う。

2 主な防除薬剤

薬剤名	希釈倍率	使用量	使用時期	使用回数
トレノックスフロアブル	500倍	200~700L/10a	収穫30日前	5回以内
ベルコート水和剤	1000倍	200~700L/10a	収穫14日前	5回以内
ナリアWDG水和剤	2000倍	200~700L/10a	収穫1日前	3回以内



果そう基部病斑



葉部の病斑



☆最新の農薬登録情報 (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vt11p301.jsp>) を確認して下さい。